

校長室つれづれ言葉

アットホームな温かい文化祭から

それぞれが
それぞれの役割を誠実にやり、そして支え合う。

結いという言葉を知っているだろうか。
人手が足りないときに、
みんなで助け合って作業を成し遂げるということをいう。
沖縄では「ゆいまーる」（助け合い）という意味に近い。

2023年度の文化祭。
マキ中生の「結」・「ゆいまーる」の心があふれ出た。
みんなの拍手と声、そしてほほえみ。
心が熱くなるひととき。

それぞれが、ひたむきに成功させようとしている姿。
それにこたえようとする人たち。
「ゆいまーる」の調べが心の中に流れていた。

表現の仕方は様々。
それを受け入れていく温かさ。
誰一人批判することなく、
それぞれがそれぞれを認め合う心の広さやおおらかさ。
それこそ、多様性を大事にする君たち。
寛容性を大事にしている君たち。
優しさと心の豊かさをもっている。

批評はあってもいい。
どのあたりがよくて、どのあたりは改善の余地はあるというように。
根拠となる基準をもとに語り合うのは、明日の成長につながる。

ただ、人の一生懸命さやひたむきさ、精一杯の姿は不動であり素晴らしい。
このような人の姿をたたえる人に成長してほしい。
そして、ひたむきに努力する人に成長してほしい。
これこそが、自分の「殻を破る」ことになる。

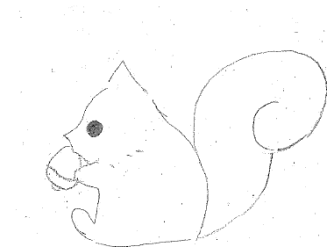


イラスト
文化探求部

